

老年歯科医学 教育基準 (2015年7月31日版)

編纂

一般社団法人 日本老年歯科医学会

理事長 櫻井 薫 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)

教育問題検討委員会

委員長 柿木 保明 (九州歯科大学生体機能学講座老年障害者歯科学分野)

副委員長 川良美佐雄 (日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座)

委 員 伊藤加代子 (新潟大学医歯学総合病院口腔リハビリテーション科)

委 員 大渡 凡人 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)

委 員 小笠原 正 (松本歯科大学障害者歯科学講座)

幹 事 阪口 英夫 (医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部)

〈老年歯科医学総論〉

I 老年歯科医学概論	1. 老年歯科医学の範疇	
	2. 口腔保健とヘルスプロモーション	1)口腔保健とヘルスプロモーション 2)健康日本21 3)全身と口腔の健康
	3. 老年者(高齢者)の特性	1)老年症候群(認知機能の特性も含む) 2)老年者の薬物動態
	4. 老年者の心理学	1)認知機能 2)個性と適応 3)中途障害の心理 4)死の受容
	5. 老年者の行動科学	1)行動科学の特性と阻害要因 2)コミュニケーション形成とその阻害要因 3)社会参加とコミュニティー・オーガニゼーション 4)受療パターン(医科と歯科に分けて記述)
	6. 老年者の栄養管理	1)高齢者の食生活・栄養確保と健康状態 2)咀嚼機能と栄養 3)栄養摂取とその問題点(評価について概説)
	7. 老年者の疫学	1)老年者の全身疾患 2)死因と寝たきり状態 3)老年病
	8. 老年者の医療倫理	1)患者の権利 2)医師の職業倫理 3)医学研究の倫理 4)個人情報の保護 5)リビングウィル 6)緩和ケア(Paliative care) 7)終末期ケア(End of Life Care)
	9. 老年者の医療経済	1)国民医療費 2)歯科医療費
	10. 人口統計	1)高齢化率(老人人口率) 2)人口構造 3)老人人口 4)老年化指数 5)健康寿命と平均寿命

II 社会保障と医療・保健・福祉	1. 老年者と法制度	1)社会保障 2)医療・保健・福祉に関する法制度 老人福祉法, 高齢者医療確保法, 介護保険法 健康増進法, 歯科口腔保健法(歴史的背景と概要)
	2. 老人福祉法	1)老人福祉制度の仕組み 2)在宅福祉 3)施設福祉 4)高齢者向けの生活施設
	3. 高齢者医療確保法	1)老人医療 2)高齢者医療確保法
	4. 介護保険法	1)介護保険制度の仕組み (1)介護認定 (2)介護給付と予防給付 (3)要介護 (4)要支援 (5)非該当(地域支援事業の介護予防事業) 2)介護給付 (1)在宅サービス (1)居宅療養管理指導, 在宅介護型施設も含む (2)施設サービス (1)介護老人福祉施設(特養) (2)介護老人保健施設(老健) (3)介護療養型医療施設(療養病床など) (3)地域密着サービス 3)予防給付 (1)在宅サービス (2)地域密着型サービス 4)地域支援事業 (1)特定高齢者施策 (2)一般高齢者施策
	5. 関連法	1)健康増進法 2)歯科口腔保健法 3)食育基本法 4)その他
	6. 医療・保健・福祉職種	1)連携の形態 2)医療職種(歯科医師, 医師等も) (1)歯科医師 (2)歯科衛生士 (3)歯科技工士 (4)医師 (5)薬剤師 (6)看護師等 (7)放射線技師 (8)臨床検査技師 (9)理学療法士 (10)作業療法士 (11)言語聴覚士 (12)管理栄養士 (13)その他の医療職

		3)介護・福祉職種 (1)社会福祉士 (2)介護福祉士 (3)精神保健福祉士 (4)訪問介護員(ホームヘルパー) (5)介護支援専門員(ケアマネジャー) (6)その他
III 加齢と老化	1. 生物学的加齢変化	1)加齢と老化(定義) 2)老化の仮説 3)細胞レベルでの老化 4)個体レベルでの老化
	2. 全身的加齢変化	1)脳神経系 2)筋肉系 3)骨格系 4)循環器系 5)呼吸器系 6)泌尿器系 7)消化器系 8)内分泌系 9)生殖器系 10)免疫系
	3. 知的機能の加齢変化	1)知的機能 2)心理的因素
IV 口腔に関連した加齢と老化	1. 歯	1)エナメル質 2)象牙質 3)歯髄
	2. 歯周組織	1)セメント質 2)歯根膜 3)歯槽骨
	3. 口腔粘膜	
	4. 唾液腺	1)唾液腺 2)唾液
	5. 頸骨・筋と頸関節	1)頸骨 2)筋肉系 3)頸関節
	6. 舌	
	7. 咽頭・喉頭	
	8. 感覚	1)体性感覚 2)特殊感覚(味覚も含む)
	9. 機能	1)摂食嚥下機能 2)咀嚼機能 3)発語機能

〈老年歯科医学各論〉

I 老年(高齢)患者の臨床評価と診療方針の決定	1. 老年(高齢)患者に対する歯科診療の進め方	1)診療の流れ 2)医療面接 3)POS(SOAP等も含む)
	2. 医療情報の収集	1)照会状 2)全身疾患 3)臨床検査 4)ADL 5)QOL

	3. 全身の評価	1)全身状態 2)栄養評価 3)認知機能 4)服用薬剤 5)その他の問題点
	4. 口腔の評価	1)摂食・咀嚼・嚥下・舌運動 2)発音・構音 3)審美 4)味覚
	5. 医療情報の分析と問題点抽出	1)プロブレムリスト 2)歯科的問題点 3)全身的条件 4)その他の諸条件
	6. 診療計画の立案	1)診療方針 2)インフォームドコンセント 3)診療計画の決定 4)多職種連携(チーム医療)
II 高齢者歯科の臨床	1. 歯および歯周組織の疾患	1)う蝕(根面う蝕も含む) 2)破折と摩耗・咬耗 3)歯髓・根尖性疾患 4)歯周病
	2. 歯の欠損への対応	1)義歯補綴 2)クラウンブリッジ 3)インプラント・その他
	3. 軟組織に関連する疾患	1)炎症 2)腫瘍および腫瘍類似疾患 (1)義歯性線維症 (2)前がん病変 (3)良性腫瘍 (4)口腔がん (5)白血病・悪性リンパ腫 3)口腔粘膜・皮膚疾患 (1)口腔カンジダ症 (2)口腔扁平苔癬 (3)義歯性口内炎, 口角びらん, 口角潰瘍 (4)口唇疱疹, 带状疱疹 (5)アフタ, 褥そう性潰瘍 (6)舌炎
	4. 硬組織に関する疾患	1)骨折 2)顎関節脱臼 3)BP 製剤関連顎骨壞死, 顎骨骨髓炎
	5. 神経疾患	1)三叉神経痛 2)顔面神経麻痺 3)オーラルディスクネジア
	6. 口腔粘膜・唾液腺等の疾患	1)口腔粘膜疾患 2)唾液腺疾患 3)口腔乾燥症(ドライマウス) 4)味覚障害 5)発音障害
	7. 周術期の歯科処置	1)周術期口腔機能管理 2)周術期専門の口腔衛生処置 3)歯科治療(歯周治療も含む)と管理

	8. 薬剤	1)薬物投与の作用・副作用 2)高齢者慢性疾患に投与される薬物(漢方薬も含む) (1)全身疾患に対する薬物 (2)口腔疾患に対する薬物
	9. リハビリテーション	1)発音・構音 2)その他
	10. 歯科疾患予防とメインテナ ンス	1)う蝕の予防 2)歯周病の予防 3)その他の歯科疾患の予防 4)治療処置後のメインテナンス
III 歯科治療時の管理	1. 歯科医療の質と安全の確保	1)医療安全 2)感染予防
	2. 歯科医療における安全管理	1)高齢者における全身的偶発症の予防 2)バイタルサイン 3)モニター管理 4)全身的偶発症とリスクマネジメント
	3. 介護技術	1)移乗・車いす操作 2)治療時の介護
	4. 全身疾患	1)循環器疾患 2)神経疾患 3)代謝・栄養疾患 4)肝・胆・膵疾患 5)腎・尿路疾患 6)血液・造血器疾患 7)呼吸器疾患 8)リウマチ性疾患,アレルギー性疾患,免疫不全 9)内分泌疾患 10)精神疾患 11)消化管疾患 12)その他の疾患
IV 訪問診療・緩和ケア	1. 訪問診療の制度および体制	1)訪問診療の制度的基盤 2)病診連携 3)医科歯科連携 4)他職種との連携
	2. 歯科訪問診療	1)訪問診療の意義と目的 2)訪問診療の場と対応 3)訪問診療用器材
	3. 歯科訪問保健指導	1)医療としての訪問歯科衛生指導 2)居宅療養指導と訪問歯科衛生指導
	4. 口腔健康管理	1)口腔衛生管理 2)口腔機能管理 3)口腔ケア
	5. 緩和ケア	1)歯科診療 2)口腔健康管理
V 摂食嚥下リハビリ テーション	1. 摂食嚥下リハビリテーション総論	1)摂食嚥下障害とは 2)社会的背景(胃瘻問題など) 3)摂食嚥下機能の発達と加齢 4)成人の摂食嚥下リハビリテーション 5)小児の摂食嚥下リハビリテーション

<p>2. 摂食嚥下と関連する解剖・生理</p>	<p>1)解剖 (1)脳・神経 (2)口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、食道の構造 (3)摂食嚥下に関する筋、神経</p> <p>2)生理 (1)摂食嚥下の5期モデル (2)摂食嚥下のプロセスモデル (3)嚥下のメカニズム、中枢機構 (4)咀嚼・嚥下・呼吸の協調運動</p>
<p>3. 摂食嚥下障害の原因と病態</p>	<p>1)摂食嚥下に関する諸因子 (・)唾液、栄養、呼吸、姿勢、発声、構音</p> <p>2)摂食嚥下障害の原因 (1)機能的疾患 (2)器質的疾患 (3)心理的疾患 (4)薬剤の副作用</p> <p>3)摂食嚥下障害の病態 (1)喉頭内侵入、誤嚥 (2)不顕性誤嚥 (3)口腔内残留、咽頭残留 (4)重症度分類 (5)摂食嚥下障害の合併症</p>
<p>4. 摂食嚥下障害の評価、診断</p>	<p>1)スクリーニングテスト (1)質問票 (2)RSST, MWST, FT, 咳テスト、頸部聴診 (3)その他の評価法</p> <p>2)嚥下内視鏡検査 (1)概要、必要物品 (2)検査法、合併症とその対策 (3)正常所見と異常所見 (4)小児に対する嚥下内視鏡検査</p> <p>3)嚥下造影検査 (1)概要、必要物品 (2)検査法、合併症とその対策 (3)正常所見と異常所見 (4)小児に対する嚥下造影検査 (5)嚥下内視鏡検査との比較</p>
<p>5. 摂食嚥下障害への対応</p>	<p>1)口腔健康管理 (1)口腔衛生管理 (2)口腔機能管理 (3)口腔ケア</p> <p>2)間接訓練 (・)進め方、手技</p> <p>3)直接訓練 (1)進め方、手技 (2)体位、姿勢の調整</p> <p>4)食事介助 (1)食事場面の観察 (2)食事形態の調整 (3)姿勢、介助法、自助具、食器</p> <p>5)治療的アプローチ (1)PAP, PLP (2)その他の補綴装置 (3)手術的治療 (4)薬物療法</p> <p>6)リスク管理 (1)誤嚥への対応 (2)窒息、嘔吐への対応</p>